

※多数のお申込みをいただいたため、追加日程を設定いたしました。

コーポレートガバナンス・コード改訂 セミナー

～単なる“改訂解説セミナー”ではなく、「CGコード改訂を通じて、日本企業の経営と市場対話を考える～

2026年のコーポレートガバナンス・コード改訂は、単なる開示項目の追加や形式的対応の見直しにとどまらず、企業・取締役会・投資家の対話の在り方そのものに変化を迫る内容となっています。プリンシプルベースの再徹底、コンプライ・オア・エクスプレインの再整理、成長投資や資源配分を巡る取締役会の役割、開示の質の向上など、多面的な論点が表示されています。本セミナーでは、制度設計者、ボード実務・企業価値経営の有識者、ガバナンス実務の専門家、市場運営者それぞれの視点から、改訂の背景と実務への影響を読み解き、企業価値向上につながるガバナンスの実践について考えます。

プログラム

第1回 CGコード改訂のポイント



小長谷 章人氏

金融庁 企画市場局
企業開示課長

配信日時：12月2日(水) 15:00-16:00

第2回 成長投資時代の取締役会 ーCGコード改訂が求める意思決定



松田 千恵子氏

東京都立大学大学院
経営学研究科/経済経営学部 教授
大手上場企業独立社外取締役

配信日時：12月2日(水) 16:00-17:00

第3回 コンプライだけでは伝わらないーエクスプレインでいかに企業の本質を伝えるか



木目田 裕氏

西村あさひ法律事務所
弁護士

配信日時：12月3日(木) 15:00-16:00

第4回 コード改訂と東証が進める市場改革の 組みー投資家の期待と組みのポイント



渡邊 浩司氏

東京証券取引所
上場部長

配信日時：12月3日(金) 16:00-17:00

開催概要

- 開催日時：第1回 2026年12月2日(水) 15:00-16:00
第2回 2026年12月2日(水) 16:00-17:00
第3回 2026年12月3日(木) 15:00-16:00
第4回 2026年12月3日(木) 16:00-17:00
- 開催形態：収録動画によるWeb配信（Teams）
※各回とも視聴可能時間は配信日時に限られます。
オンデマンド配信ではありません。
- 参加費：無料（会員・一般ともに無料でご参加いただけます）

- お申し込み：↓こちらから



<https://business.form-mailer.jp/fms/978a0d1f362245>

- 本セミナーの詳細：↓こちらから
オープン講座－会計教育研修機構

お問い合わせ：一般財団法人会計教育研修機構 企画・推進チーム

✉ ja+kikaku@jfael.or.jp

☎ 03-3510-7860

セミナー概要

第1回 『CGコード改訂のポイント』

講師：小長谷 章人氏 金融庁 企画市場局 企業開示課長

2014年のSSコード策定、2015年のCGコード適用開始以降、日本におけるコーポレートガバナンス改革は一定の進捗が見られています。他方、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に向けては、コードを形式的に遵守するのではなく、自社の置かれた状況を踏まえて、コードの趣旨に沿った企業と投資家双方の取組みが広がることが重要です。2026年のCGコード改訂は、このような取組みを後押しする観点から、コードそのものの「実質化」を狙いとしたものです。本講では、今回の改訂について、その考え方や背景を解説します。

第2回 『成長投資時代の取締役会 ―CGコード改訂が求める意思決定』

講師：松田 千恵子氏 東京都立大学大学院 経営学研究科/経済経営学部 教授

今回の改訂では、成長投資や資本効率を意識した収益性の向上、さらには経営資源配分や取締役会の実質的な機能発揮が重要論点として位置付けられています。本講では、社外取締役・有識者としての実務経験も踏まえ、取締役会が何を議論し、意思決定を行っていくべきかを考察します。十全なモニタリング機能を発揮しつつ、企業価値向上に向けた重要な意思決定を支える場として、取締役会はどのようにあるべきかを、CGコード改訂の内容を読み解きつつ、実践的に考えていきます。

第3回 『コンプライだけでは伝わらない―エクスプレインでいかに企業の本質を伝えるか』

講師：木目田 裕氏 西村あさひ法律事務所 弁護士

プリンシプルベースの再徹底により、「コンプライ・オア・エクスプレイン」の実効性が改めて問われています。一方で企業実務では、必ずしもすべてをコンプライできているとは限らず、現状や今後の方向性を説明するエクスプレインが、投資家の理解を得る上で重要となる場面も多く見られます。本講では、コンプライが必ずしも最適解とは限らないという視点から、企業の取組みの本質を伝える説明のあり方を検討し、形式的なエクスプレインがなぜ評価されないのか、その背景とリスクを踏まえながら、対話に耐えうる実質的なエクスプレインとは何かを考察します。

第4回 『コード改訂と東証が進める市場改革の取組み 投資家の期待と取組みのポイント』

講師：渡邊 浩司氏 東京証券取引所 上場部長

東証では、上場会社における中長期的な企業価値向上を後押しするため、市場改革を進めています。多くの上場会社の皆様のご協力により、「資本コストや株価」に対する上場会社の意識には大きな変化が見られており、本年4月には、今後の更なる進展に向けて、今般のCGコード改訂でも重要なポイントの一つとして強調されている「経営資源の適切な配分」を中心とした投資家の期待や取組みのポイントを公表しました。本講では、こうした一連の東証の取組みの背景や上場会社への期待などについて、投資家から寄せられている声や具体的な事例とあわせて紹介します。